



肢・病併置校 東京都立光明学園 学校通信 高等部卒業記念号 令和3年3月19日発行

東京都立光明学園

校長 田村 康二郎

東京都世田谷区松原6-38-27

電話 03-3323-8421

# 光明の学び

## 高等部卒業生に贈る最後の授業 令和2年度版「光明学」

### 母校「光明学園」卒業生であることを誇りに

今、光明学園における全ての学びを修め終えた皆さんに、学業成就の証「卒業証書」を授けました。高等部卒業をここに祝福します。明日から卒業後の生活が始まります。はばたきの日に際し、校長より特別授業「光明学」を贈ります。

**1時間目は「現代社会」の時間**です。千代田区の国会議事堂正門前に衆議院が管理する憲政記念館があります。この記念館は「議会政治の父」と称えられる不世出の政治家、故尾崎行雄さんの業績を讃えたものです。館内には教科書で見た歴史上の書や絵の他、衆議院議長席が設けられていて、民主主義の大切さを教えてくれます。玄関先には、欧州から贈られた大きな花崗岩に碑が建立され、「人生の本舞台は常に将来に在り」と彫られています。この言葉は、光明学園の校訓「学びの光、前途を照らす」に込められた志と重なります。学校は、決してゴールではありません。卒業後、一人一人が主役として存分に活躍するために知恵と勇気と友情を蓄える稽古場が学校なのです。

祝、卒業。いよいよ本舞台の幕開けです。光明学園の一員であったことを誇りに、本舞台に打って出てください。

**2時間目は「日本史」の時間**です。光明学園の歴史を振り返ります。昭和7年、日本で初めての体の不自由な子供のための公立学校『東京市立光明学校』が、港区南麻布に開校しました。開校時には麴町小学校の病弱教育学級の担任として活躍された結城捨次郎先生が初代校長として着任し、病弱教育の様々なメソッドを取り入れたカリキュラムを展開しました。肢体不自由教育と病弱教育の繋がりの原点がそこにあったのです。現在の「自立活動」や「キャリア教育」そして「生涯学習」などの学びの基礎もこの頃に形成されました。さて、国内で唯一の肢体不自由児のための学校

である光明学校には全国から入学希望者が殺到しました。そこで昭和14年、現在の世田谷の地に新校舎を建てて本校を移しました。昭和21年に国内初の中学校併設、昭和33年に国内初の高等部設置と発展し、全国に中・高の肢体不自由教育が広がっていく契機となりました。今年は母体校開校から89年目となります。今も「医療的ケア推進」「言語活動に関する基礎学習」「遠隔学習やプログラミング学習の展開」など、先頭を駆けるパイオニア校なのは変わりありません。

**3時間目は「ホームルーム」の時間**です。卒業後の新世界に飛び込んで夢中で過ごしている中で、急に母校が懐かしく思える時があるかもしれません。そうした時、懐かしの校舎で、懐かしの先生方や旧知の友と再会して旧交を温め、近況を伝え合いながら過ごせる機会があります。それを同窓会といいます。光明学園には母体校から続く「仰光会」という同窓会が活動しています。今回、仰光会を運営する卒業生の方々と相談し、光明学園開校以来のS・B両部門の高等部卒業生も会員加入できるように検討して下さる事になりました。万端整いましたら、後日「仰光会加入の御案内」を学校からお知らせする予定ですので、ぜひ御検討ください。今回は開校1年目から遡って本校B部門卒業生の方にも御案内をお送りする予定です。

**4時間目は「進路」の時間**です。皆さんは多くの人々の愛を受けて大切に生まれ、体力を養い、健康を維持しながら、日々の学びを積み上げ、門出の節目を迎えています。一人一人は誰にも代わることのできない尊い存在です。この学園で知り合った、同じ志の学園生と学び合ったこと、多くの人々との絆で得たこと、学校や寄宿舎生活で学習したことを駆使して、人生の本舞台に登壇してください。そして**光明学園卒業生であることを一生の誇りとしてください。**

では、これで最後の授業を終わります。

統括校長 田村康二郎